



昭和大学病院

クオリティインディケーター(QI)成果報告 〔救急診療科〕

指標名

7day Bounce-back admission(救急外来から帰宅後 7 日以内の予定外入院または予測されない死亡)の割合

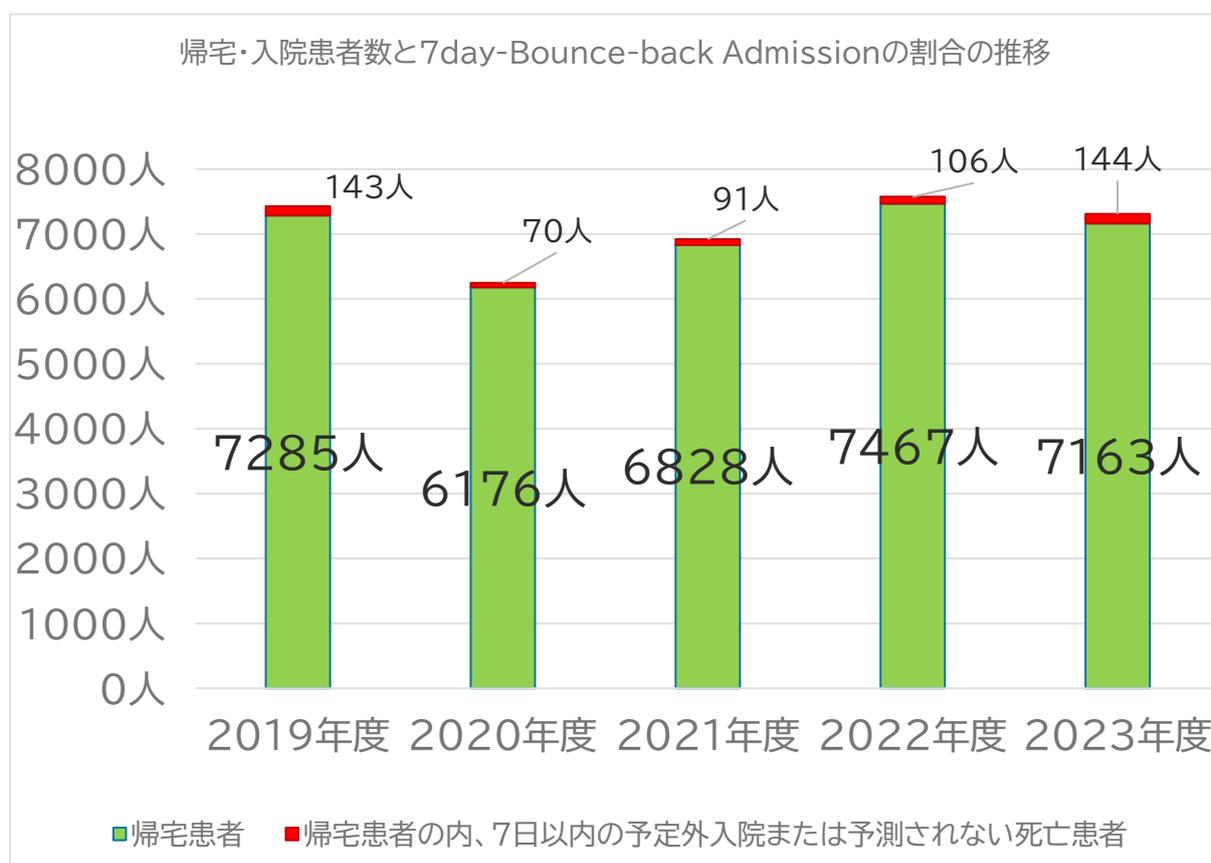
目標・ゴール

2.5%以下

目標・ゴール達成による効果

救急外来での的確な重症度判断により、患者の安全が保障される。

目標・ゴールに対する成果の状況



全帰宅症例に対して、7d-BBA と認定された症例は、コロナ禍前の 2019 年度が 143/7,428 件 1.93%であった。コロナ禍以後の 2020 年度～2022 年度は 1.5%以下を推移していたが、2023 年度は 144/7,163 件 2.01%となり、2019 年度を上回った。ただし、目標とする 2.5%以下は達成できた。

目標・ゴール達成度

※該当項目に☑をつけてください

- S :大幅に目標を上回った
- A⁺:目標を多少上回って達成
- A :目標を達成
- B⁺:目標を少し下回った
- B :目標を下回った
- C :目標を大幅に下回った
- :外的要因により継続困難となった。

目標・ゴールの課題・改善策

当科で管理している診療資料や web 学習コンテンツを院内へ普及させることなどにより、病院全体での救急診療レベルの向上と、7d-BBA の増加抑制に努めていきたい。